

2016年12月5日

日本福祉大学「福祉現場と専門職養成をつなぐフォーラム愛知」

2016年度第2回研修会・開会挨拶

日本福祉大学学長 二木 立

本日は、平日にもかかわらず、「福祉現場と専門職養成をつなぐフォーラム愛知」2016年度第2回研修会にご参加いただき、ありがとうございます。皆様には、日頃、社会福祉実習の受け入れや卒業生の採用等で大変お世話になっていることにお礼申し上げます。

本「フォーラム」は昨年度発足し、愛知県内の社会福祉法人17法人に幹事法人に、77法人に賛同法人になって頂きました。

8月5日の第1回研修会では、私が、厚生労働省のプロジェクトチームが昨年9月に発表した「新福祉ビジョン」とそれに対応してソ教連（ソーシャルワーク教育団体連絡協議会）特別委員会（私が委員長）が5月にまとめた「中間報告」を中心にして、「社会福祉士をめぐる政策動向と福祉人財養成の課題」について基調講演をさせて頂きました。おかげさまで、ソ教連特別委員会は10月に「最終報告」をまとめ、厚生労働省等に提出しました。それが、現在検討が始まっている社会福祉士養成教育改革に反映されることを期待しています。

本日の第2回研修会は「社会福祉法人の地域における人財確保・人財養成・社会貢献の取り組み」をテーマとさせて頂きました。まず、本学の平野隆之副学長が基調講演を行い、それを受けて、本フォーラムの幹事法人の代表者4人によるシンポジウムを行います。平野副学長は、全国の社会福祉法人が進めている先進的な街づくりを熟知している地域福祉研究者ですが、それに加えて、本学の原田正樹教授と共に、厚生労働省が現在全省をあげて取り組んでいる「我が事・丸ごと」地域共生社会実現のための基礎的検討組織の責任者を努めています。そのため、それについての最新情報もお話し頂けると思います。ご期待下さい。

最後に、本学の来年度の学生募集の2つの柱について紹介・宣伝させていただきます。1つは、社会福祉学部的大幅リニューアルです。社会福祉学部は入学定員的大幅削減（490人から400人へ）と4専修制の導入を行います。4専修とは、行政専修、子ども専修、医療専修、人間福祉専修の4つです。その目玉は公務員としてまちづくりに携わる人材の養成を旨とする「行政専修」です。言うまでもなく、社会福祉学部は本学の原点・基幹学部です。その中心となる高い学力と学ぶ意欲を持った学生を獲得するために、学費を4年間半減し、国立大学と同レベルに引き下げるスカラシップ入試を導入します。

もう1つは、美浜キャンパスでのスポーツ科学部の開設です。本学部は、競技者スポーツ中心の他大学の類似学部と異なり、「ふくしの総合大学」の中のスポーツ系学部として、スポーツに関心を持つ幅広い若者が、講義と演習を通して「スポーツを360度科学」し、「どんな人にも対応できるスポーツ指導力」や「どんな仕事にも生かせる実践力」を身につけることを目指しています。

本学の学生募集活動に対しても、皆様のご指導とご協力をいただければ幸いです。

以上で、私の開会挨拶を終わらせて頂きます。